

● 10円玉について



図柄：

裏面 常磐木

表面 平等院鳳凰堂、唐草

発行：昭和34（1959）年

直径：23.5mm

素材：銅95%、亜鉛4%～3%、スズ1%～2%

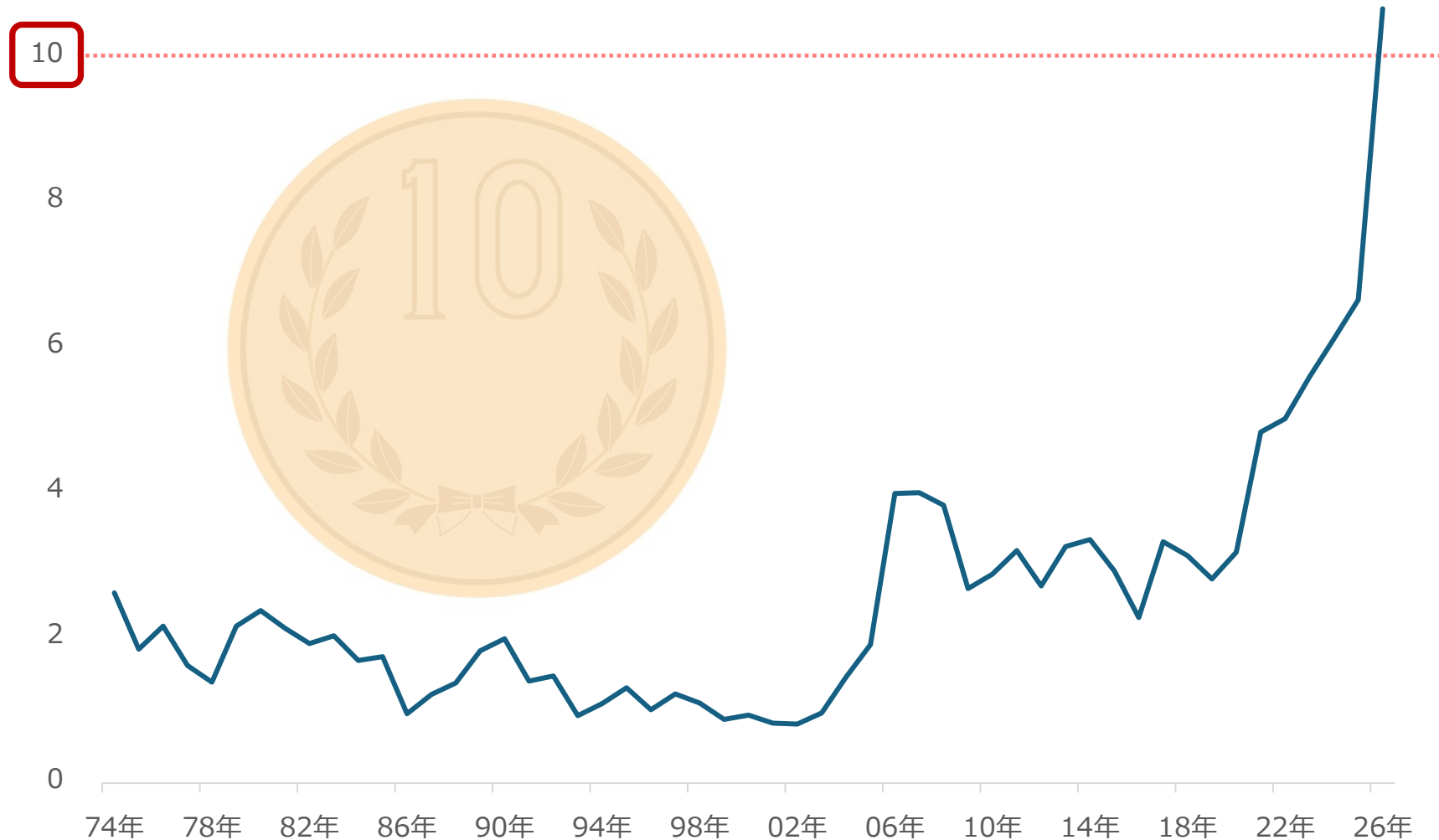
重さ：4.5g

出所：日本銀行の資料をもとに筆者作成 イラストはPIXTA

10円玉は青銅製。銅（主成分）に亜鉛などを混ぜた合金でできている。

● 10円玉を構成する金属の価値（筆者試算） 単位：円/個

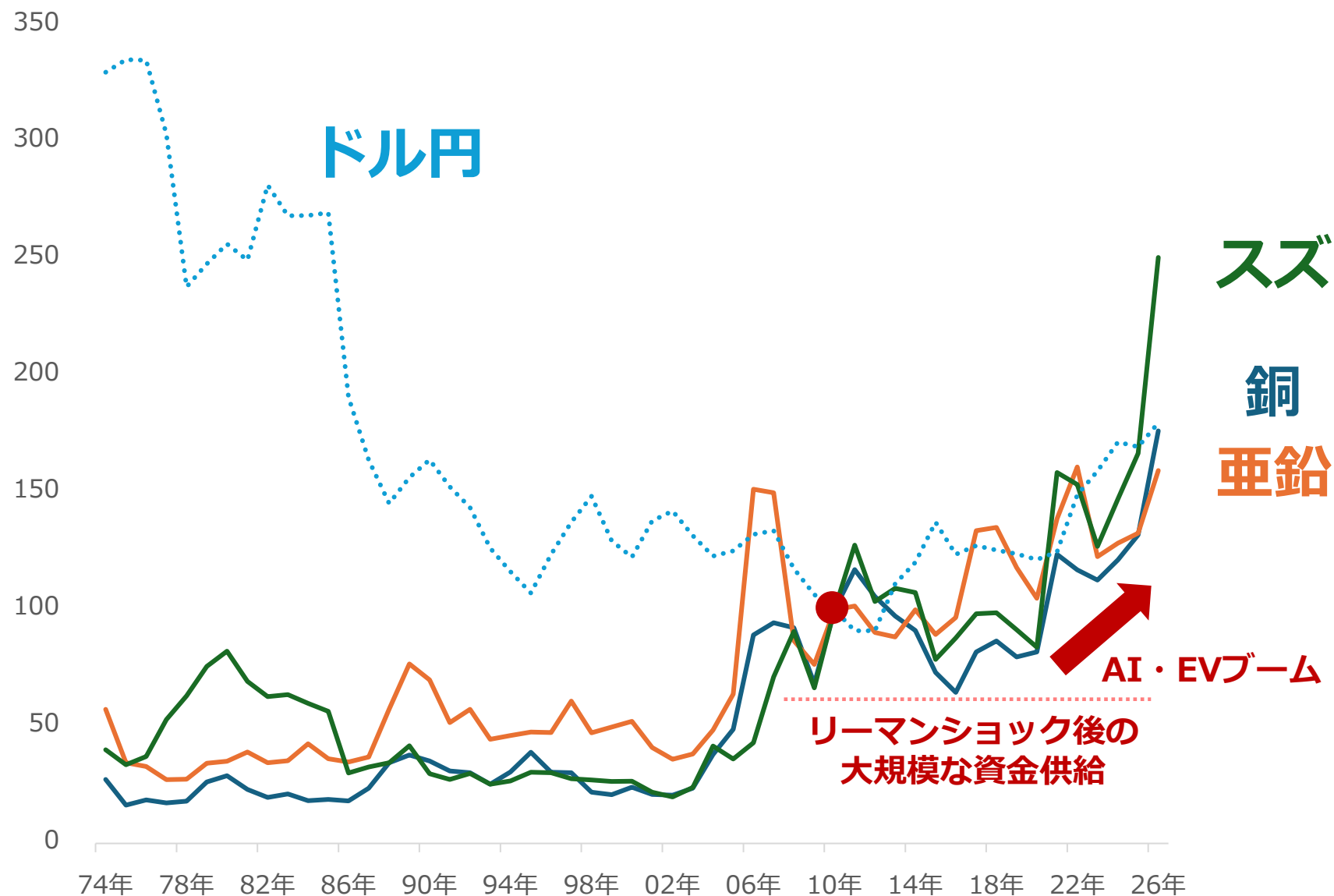
12 各種金属の国際相場・ドル円相場および、法令で定められた品位・量目をもとに銅4.275g、亜鉛0.135g、スズ0.090gと仮定して試算。



出所：世界銀行などのデータおよび日本銀行の資料をもとに筆者試算 イラストはPIXTAをもとに筆者作成

10円玉は10円を超えた。

● 10円玉を構成する各種金属の国際相場とドル円相場 2010年を100として指数化



出所：世界銀行などのデータをもとに筆者作成

上昇要因（AI・EVブーム）と下支え要因（資金供給）、そして円安。

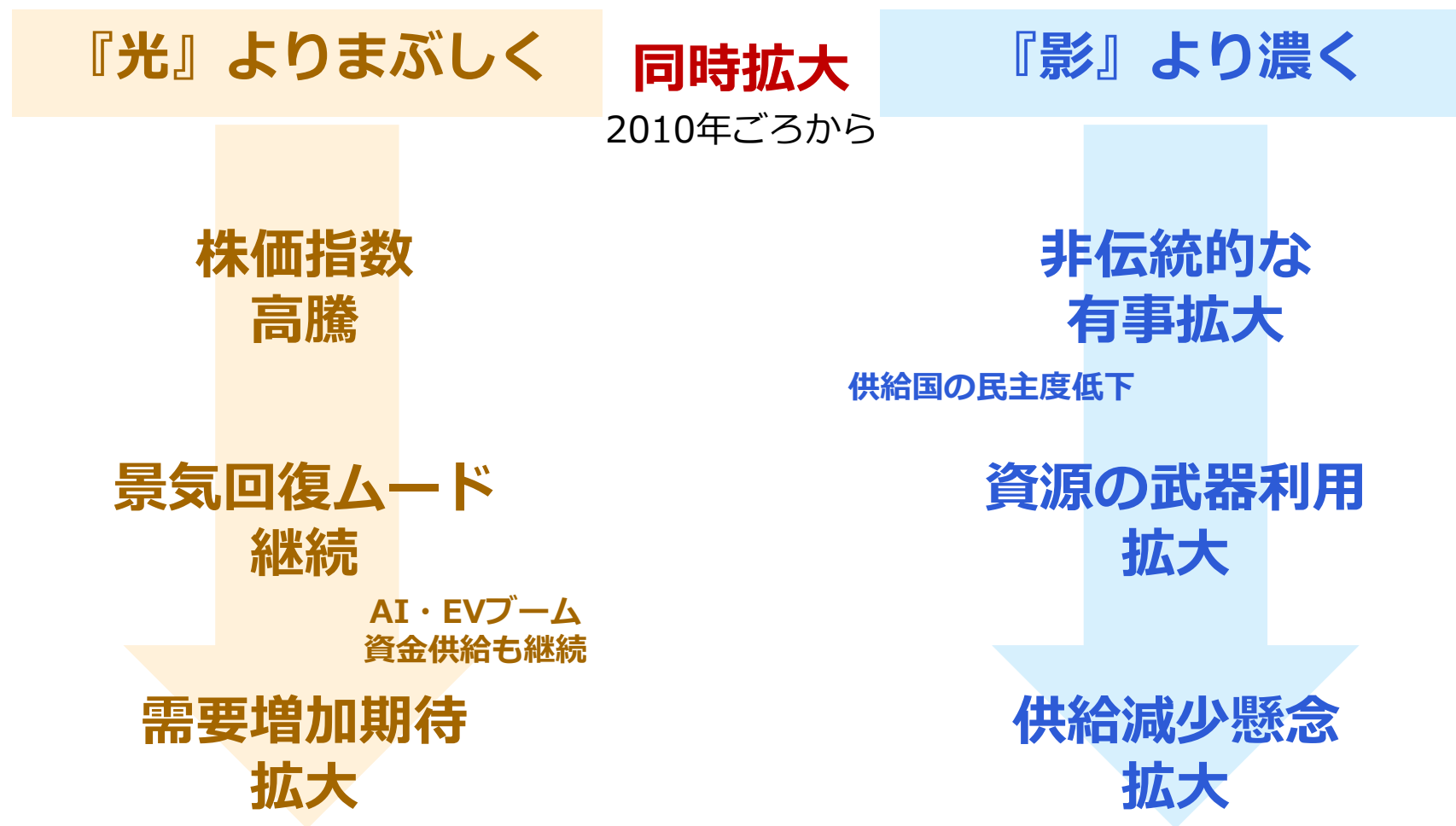
● S&P500種指数、金（ゴールド）の価格推移



出所：ブルームバーグのデータをもとに筆者作成

株は光、金（ゴールド）は影の象徴。強く・濃くなり 両価格が長期上昇継続へ

● 「光と影の同時拡大」がもたらす10円玉を構成する金属の価格動向への影響



10円玉を構成する各種金属の価格高騰続く

出所：筆者作成

社会的な大きな流れがさらなる価格高騰を導く！？

● 手のひらの10円玉を見つめることの意味（筆者イメージ）

手のひらの10円玉を見つめる・・・（金属 ＞ 貨幣）



金属相場

世界の『光』

世界株価指数

AI（ハイテク）

EV（脱炭素）

中央銀行資金供給 など

世界の『影』

非伝統的な有事

世界民主主義

資源武器利用 など

ドル円相場

日米 金融政策

日米 物価動向 など

世界情勢を見つめる
→ 世界とつながる！

出所：筆者作成 イラストは生成AIで作成

10円玉は自分と世界をつなぐカギ